

## 感謝する心を 校長 新門 健一

新年あけましておめでとうございます。昨年は、本校の教育活動に御理解と御支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力いたします。保護者の皆様をはじめ、高齢者や地域の皆様の御理解と御協力、建設的な御意見を宜しくお願いいたします。



寒い中をよく耐え、いいにおいを届けてくれています。

さて、新年早々三島小中学校にとってはうれしいことがありました。皆さんもうご存知とは思いますが、中学1・2年生8名で臨んだ県中学校音楽コンクール「春の祭典」の合唱での金賞受賞です。11月の校内文化祭の後から練習を開始したのですが、最初は出場することにも消極的な子どもたちでした。途中外部から西山先生に指導者として来ていただいてから、取り組む姿勢が変わり、徳田健一郎さんにも指導に加わってもらい、土日を含め連日午後4時過ぎから練習を続け出場したわけです。

「努力は嘘をつかない」という言葉を聞いた事があります。今回のことはまさにその言葉通りでした。毎日の練習は子どもたちにはきつい時もあったのではないのでしょうか。友達・指導して下さる先生方・保護者の方々のおかげでそのきつさを乗り越えて今回の成果を勝ち取ったのではないかと思います。苦しさを乗り越え努力することの大切さを感じたのではないのでしょうか。それと同時に自分の周りの人々の大切さを感じることができたのではないのでしょうか。

今回のことは、小さな学校の大きな成果だと思います。「常に人は一人で生きているのではなく、みんなで助け合いながら生きている。」という気持ちを持ち続け、「感謝する心」を忘れずに生きたいものです。

## 高齢者の方々へのメッセージカード

18日(水)に高齢者の方々へ向けて、日ごろの感謝の気持ちを込めて“メッセージカード”を贈りました。高齢者の方々には、授業参観に来ていただいたり、「ふれあいスポーツ大会」を一緒に楽しんだりと日頃からお世話になっています。



高齢者の方々楽しく見ていただけるように絵が飛び出す“ポップアップカード”にしました。今後も高齢者の方々とのおふれあいを大切にしていきたいです。



## 合唱発表

18日(水)の高齢者学級の際にこれまで練習してきた“合唱”の発表をしました。まず、小中学生全員で「硫黄島小学校校歌」を歌いました。これは、今の小学校の校歌の前の校歌です。高齢者の方々が、小さい頃歌っておられたとのことで、聴きながら歌詞を口ずさんでおられる姿も見られました。後からは、中学1・2年生が「島唄」の合唱を披露しました。これは、春の祭典に出る前にまず地区の方々に練習の成果を披露したいという気持ちからのことでした。地区の方々に励まされ、おかげさまで自信を持って春の祭典に臨むことができました。

## “快挙” 春の祭典『金賞』受賞

22日(日)、中学部1・2年生8名が「第45回鹿児島県中学校音楽コンクール『春の祭典』」の合唱部門において、“金賞”受賞の快挙を成し遂げました。夏の祭典では、7年連続の金賞受賞で実績を積んできている本校ですが、合唱部門は初めての挑戦です。毎日放課後や休みの日などを使い練習を重ねてきました。特に最後の数日間は体力的にもぎりぎりのところで、気力ががんばって練習していたようです。鹿児島県の音楽指導者として実績のある西山裕雄先生に来島いただき、指導を仰ぐなどあらゆる努力をしてきたその成果が認められました。この貴重な経験をこれからの生活に生かしてくれるものと期待します。



みなさんのおかげで金賞をとることができました。ありがとうございます。

## タイムカプセル開封!

7日(土)に平成15年度の三島小学校の卒業生3人(徳田麻里奈さん、辻茉莉さん、有村朋聖さん)と担任の久保芳恵先生、養護教諭の上木原洋子先生、先輩の長濱耕平さんが学校を訪れ、タイムカプセルの開封をしました。徳田麻里奈さんから「夢を持って成長し、私たちのようにタイムカプセルを開けられるようになってほしい。」と、辻茉莉さんから「これからも硫黄島を誇りに思い、自然を大切にしてください。」と、有村朋生さんから「ぼくは、魚釣りが好きでした。自然に親しんでください。」と後輩へのメッセージをもらいました。先輩に続くようがんばってほしいです。



## 入賞おめでとう

小学6年生の森山泉梨さんと中学1年生の新門里紗さんの二人が、平成23年度「明るい選挙啓発標語コンクール」に於いて優秀賞を獲得しました。写真のように賞状と副賞が届きましたので、終業式の際に授賞式を行いました。今後多く子どもたちが作文や絵などの作品を通して自分なりに努力したことが広く認められればと思います。



## クセンボ

8日(日)に地区の伝統行事であるクセンボが行われました。今年は、男児10人がクセンボ(福祭文棒)を持って、鉢巻姿で元気よく参加しました。祝詞を唱えながら勢いよく地面をつき、終わったときには無事役目を果たしほっとしているようでした。子どもたちにとって伝統文化に触れる貴重な体験活動となりました。



クセモン棒は、前日にお父さん方など地区の方々により、作られたものでした。